



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シード
 コード番号 7743 URL <http://www.seed.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦壁 昌広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鎌田 清

TEL 03-3813-1111

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,855	22.2	95	—	92	—	24	—
27年3月期第1四半期	3,974	△7.4	△2	—	△24	—	△8	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 128百万円 (495.3%) 27年3月期第1四半期 21百万円 (△76.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	2.87	—
27年3月期第1四半期	△0.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	24,396	8,326	34.1	973.30
27年3月期	24,823	8,390	33.8	980.80

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 8,326百万円 27年3月期 8,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	22.50	22.50
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	22.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,200	13.1	180	△25.7	130	△41.1	40	△62.3	4.68
通期	21,000	12.1	620	14.6	500	5.4	245	13.2	28.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	9,112,000 株	27年3月期	9,112,000 株
28年3月期1Q	557,300 株	27年3月期	557,300 株
28年3月期1Q	8,554,700 株	27年3月期1Q	8,554,758 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項は、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や企業収益が改善するなど緩やかな回復基調が続いているものの、欧州債務問題の再燃、新興国経済の減速等、海外経済の下振れ懸念もあり、先行き不透明な状況で推移しております。

コンタクトレンズや眼鏡業界におきましても、消費税特需による反動減の影響も一巡し市場は回復基調に転じており、価格、販路、広告戦略等々における各メーカー間の販売促進が激化するものと思われまます。

このような状況の中、当社グループといたしましては、今期を起点とする3ヶ年中期経営計画を策定し、『世界に広がる“日本のシード”』を具現化してゆく3年間と位置付け、「販売戦略」、「商品戦略」、「生産・開発力強化」、「管理体制強化」を最重要施策として、変化する市場や将来の競争力強化に結実すべく、積極的に経営資源を投下してまいります。

新商品の投入や既存商品のスペック拡充、ブランド認知度向上を図り、国産ならではの開発力、品質・安全性の高さを、お客様よりご理解、ご支援いただくことでシェア拡大に繋げ、収益性の改善、事業基盤の強化に努めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,855百万円(前年同期比22.2%増)となり、利益につきましては、営業利益95百万円(前年同期営業損失2百万円)、経常利益92百万円(前年同期経常損失24百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益24百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失8百万円)と増収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(コンタクトレンズ・ケア用品)

コンタクトレンズ・ケア用品につきましては、純国産1日使い捨てコンタクトの「シードワンデーピュア」シリーズや、瞳を際立たせるサークルレンズ「シードアイコフレワンデーUV」と「ヒロインメイクワンデーUV」を柱として、国産の品質力やきめ細やかな対応力、独自の付加価値といったアピールポイントを前面に、国内外において積極的な営業活動を展開してまいりました。

この結果、昨年6月から全国発売を開始いたしました「シードワンデーピュアうるおいプラス乱視用」や、女優の飯島直子さんをキャラクターに起用した遠近両用の「シードワンデーピュアマルチステージ」等の機能性コンタクトの伸長に加え、市場の回復基調により2週間・1ヶ月交換タイプにおいてもユーザーが市場に戻ってきていることで、売上高は4,486百万円(前年同期比23.4%増)と増収となりました。

広告宣伝費や研究開発費の投入等、販管費は前年同期対比で増加しておりますものの、売上高の回復により営業利益につきましては、243百万円(前年同期比72.8%増)と増益となりました。

(眼鏡)

眼鏡につきましては、主力フレームの「ビビッドムーン」や「プラスミックス」を中心に、代理店の活用や地方展示会出展、海外ルート確立等、新販路の開拓や既存得意先での取引量拡大に努めてまいりました。

眼鏡業界におきましても、消費税特需による反動減の影響が一巡し消費動向は回復基調にあり、主力フレームの春夏新作モデルが大型チェーン店等で採用され予定どおり配荷されました。この結果、売上高は281百万円(前年同期比10.1%増)、営業利益1百万円(前年同期営業損失2百万円)となりました。

(その他)

その他につきましては、子会社の携帯電話部門においても、消費動向は回復基調にあり売上高は86百万円(前年同期比5.0%増)となり、損益につきましては、営業損失11百万円(前年同期営業損失7百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、24,396百万円となり、前連結会計年度末から427百万円減少いたしました。主な要因として、売上高の回復に伴いたな卸資産が101百万円(4,311百万円から4,210百万円)減少したことや、減価償却費の増加により有形固定資産が386百万円(14,135百万円から13,749百万円)減少したことが挙げられます。

負債につきましては、16,070百万円となり、363百万円の減少となりました。主な要因として、賞与引当金の減少134百万円(286百万円から152百万円)減少したことや、借入金の返済により長期借入金493百万円(3,887百万円から3,394百万円)減少していることによるものであります。

純資産につきましては、8,326百万円となり、64百万円の減少となりました。主な要因として、利益剰余金の減少167百万円(2,924百万円から2,756百万円)が挙げられます。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、1,472百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,106百万円(前年同期109百万円の収入)となりました。資金増加の主な要因は、売上債権の減少250百万円やたな卸資産の減少101百万円による資金化や、減価償却費の内部留保436百万円が挙げられます。また、資金減少の主な要因は、賞与引当金の減少134百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、104百万円(前年同期101百万円の支出)となりました。これは主に、鴻巣研究所2号棟の設備導入に伴う有形固定資産の取得117百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、697百万円(前年同期777百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済537百万円や配当金の支払い178百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月12日の「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、平成27年6月1日付「中期経営計画(2018年3月期)の策定に関するお知らせ」の生産戦略のひとつであります“総合研究所(桶川)の鴻巣研究所への集約”による合理化・効率化推進のため、鴻巣研究所研究棟の新規建築工事を8月1日に着工いたしました。竣工予定は平成28年5月31日であり、研究棟の完成と並行して集約を進めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,155,443	1,472,340
受取手形及び売掛金	3,400,413	3,149,630
商品及び製品	3,606,667	3,582,467
仕掛品	363,915	290,230
原材料及び貯蔵品	341,214	337,507
未収入金	307,699	304,316
その他	600,313	521,726
貸倒引当金	△124,364	△121,876
流動資産合計	9,651,304	9,536,343
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,057,956	4,954,615
機械装置及び運搬具(純額)	1,263,486	1,177,640
土地	3,548,710	3,548,710
リース資産(純額)	3,880,866	3,700,222
建設仮勘定	92,215	92,215
その他(純額)	292,424	275,959
有形固定資産合計	14,135,658	13,749,362
無形固定資産	71,953	66,851
投資その他の資産	※964,632	※1,043,799
固定資産合計	15,172,244	14,860,013
資産合計	24,823,549	24,396,356

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	752,802	693,326
短期借入金	4,538,584	4,724,627
リース債務	886,239	862,659
未払法人税等	13,512	26,955
賞与引当金	286,300	152,230
製品保証引当金	37,830	34,160
その他	1,438,438	1,742,463
流動負債合計	7,953,706	8,236,422
固定負債		
長期借入金	3,887,761	3,394,256
リース債務	3,141,197	2,961,676
退職給付に係る負債	1,256,854	1,281,690
役員退職慰労引当金	64,856	67,215
資産除去債務	125,688	125,793
その他	3,000	3,000
固定負債合計	8,479,357	7,833,630
負債合計	16,433,064	16,070,053
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,841,280	1,841,280
資本剰余金	3,546,560	3,546,560
利益剰余金	2,924,419	2,756,520
自己株式	△176,292	△176,292
株主資本合計	8,135,967	7,968,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	270,241	350,077
繰延ヘッジ損益	42,076	54,390
為替換算調整勘定	△22,564	△13,190
退職給付に係る調整累計額	△35,236	△33,043
その他の包括利益累計額合計	254,517	358,234
純資産合計	8,390,485	8,326,302
負債純資産合計	24,823,549	24,396,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	3,974,580	4,855,153
売上原価	2,280,415	2,830,226
売上総利益	1,694,165	2,024,927
販売費及び一般管理費	1,696,949	1,929,779
営業利益又は営業損失(△)	△2,783	95,148
営業外収益		
受取利息	77	147
受取配当金	3,266	3,892
為替差益	5,321	4,095
売電収入	6,758	11,275
その他	4,037	14,210
営業外収益合計	19,462	33,622
営業外費用		
支払利息	28,839	29,063
その他	12,606	6,912
営業外費用合計	41,446	35,976
経常利益又は経常損失(△)	△24,767	92,793
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,807
特別利益合計	—	1,807
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△24,767	94,601
法人税、住民税及び事業税	△5,270	18,811
法人税等調整額	△11,072	51,208
法人税等合計	△16,342	70,019
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,425	24,581
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,425	24,581

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,425	24,581
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,106	79,835
繰延ヘッジ損益	△14,983	12,313
為替換算調整勘定	△1,590	9,373
退職給付に係る調整額	1,443	2,193
その他の包括利益合計	29,976	103,716
四半期包括利益	21,551	128,298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,551	128,298
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△24,767	94,601
減価償却費	337,573	436,716
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,428	△2,538
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,886	28,074
賞与引当金の増減額(△は減少)	△159,930	△134,070
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△1,920	△3,670
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△8,195	2,359
受取利息及び受取配当金	△3,344	△4,039
支払利息	28,839	29,063
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,807
売上債権の増減額(△は増加)	1,180,383	250,937
たな卸資産の増減額(△は増加)	△513,706	101,592
仕入債務の増減額(△は減少)	△414,870	△59,475
未払金の増減額(△は減少)	△73,921	158,058
その他	△88,365	259,015
小計	260,232	1,154,817
利息及び配当金の受取額	3,344	4,039
利息の支払額	△29,641	△29,584
法人税等の支払額	△124,480	△22,664
営業活動によるキャッシュ・フロー	109,454	1,106,607
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△97,204	△117,809
投資有価証券の取得による支出	△211	△209
投資有価証券の売却による収入	—	13,856
貸付金の回収による収入	2,131	1,102
敷金及び保証金の差入による支出	△327	△2,260
敷金及び保証金の回収による収入	450	1,532
その他	△6,199	△593
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,361	△104,381
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△20,000	229,645
長期借入金の返済による支出	△398,671	△537,106
配当金の支払額	△196,053	△178,818
リース債務の返済による支出	△163,266	△211,179
財務活動によるキャッシュ・フロー	△777,991	△697,459
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,625	12,130
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△771,524	316,896
現金及び現金同等物の期首残高	2,023,217	1,155,443
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,251,693	※ 1,472,340

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,636,048	255,722	3,891,770	82,810	3,974,580
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,636,048	255,722	3,891,770	82,810	3,974,580
セグメント利益又は損失(△)	140,918	△2,926	137,992	△7,590	130,402

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	137,992
「その他」の区分の利益	△7,590
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△133,185
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△2,783

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,486,594	281,573	4,768,168	86,985	4,855,153
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,486,594	281,573	4,768,168	86,985	4,855,153
セグメント利益又は損失(△)	243,544	1,178	244,723	△11,910	232,812

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	244,723
「その他」の区分の利益	△11,910
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△137,664
四半期連結損益計算書の営業利益	95,148

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。